

地方創生実践塾の紹介

令和7年12月



一般財団法人
地域活性化センター
Japan Center for Regional Development

- 先進的な取り組みを行う地域を開催地とし、講義やフィールドワーク、グループワーク等のメニューから、より実践的な地域づくりのノウハウや手法を学ぶことができる2～3日間のセミナーです。
- 全国から集まる熱い参加者と思いを共有し、強いつながりをつくることも魅力です。

開催自治体のメリット

- 地域の取り組みを全国に発信
- 全国の参加者と新たな繋がりを創出
- 地元の意欲が向上し、新しい地域づくりに繋がる
- 開催経費は基本的に地域活性化センターで負担

カリキュラムのイメージ

※2日開催の場合

1日目

- 開催テーマに関する基本的な知識や開催地での取組の把握から始まり、より具体的な学びに入ります。
 - ・開講式
 - ・主任講師(※)による導入講義
 - ・自治体職員、地域づくり関係者等の特別講師(※)による講義、パネルディスカッション等

2日目

- より実践的な内容になります。グループワークでは講義やフィールドワークを通じて感じた意見を交換し、そのテーマに関する課題について協議することにより、認識を深めます。
- 最後に、グループワークの発表やまとめの講義を行い、トータルとして明日から実践できるノウハウの習得を目指します。
 - ・主任講師、特別講師(※)等による講義
 - ・フィールドワーク(団体の活動やまちづくりの各種取組を現地で学びます)
 - ・グループワーク
 - ・主任講師による総括講義
 - ・閉講式

※主任講師、特別講師：開催地で活動している有識者や専門家、地域づくり活動の実践家等

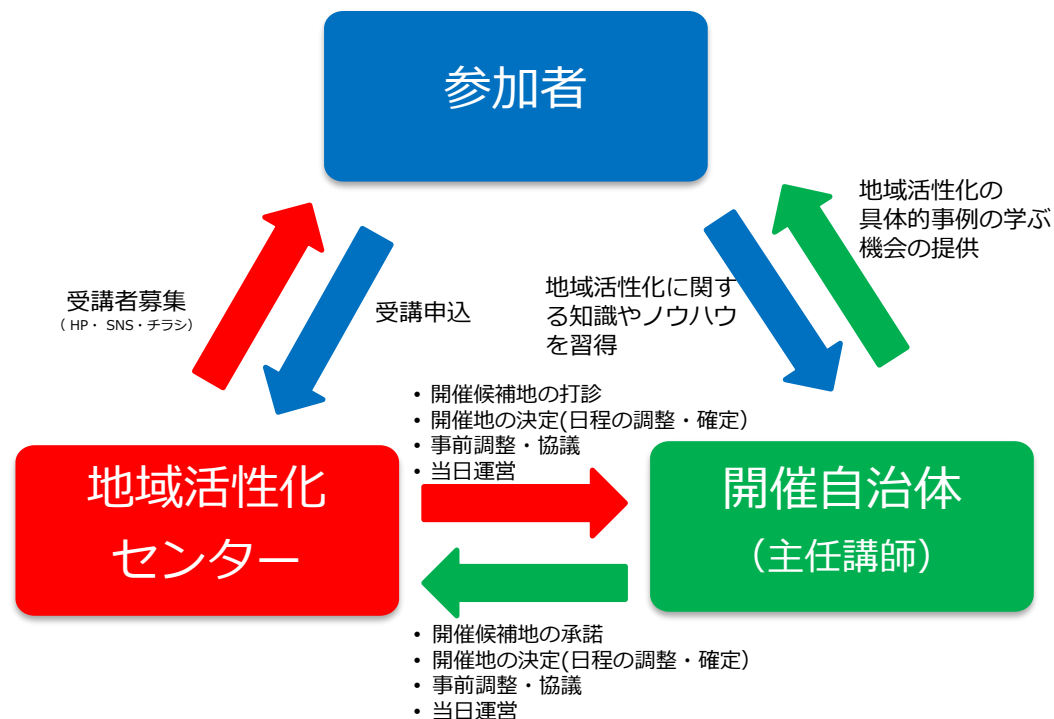
開催概要

- ◆ 開催地で行っている地域活性化に関する取組みをテーマとして、主任講師及び特別講師（開催地で活動している有識者や専門家、地域づくり活動の実践家等）、行政関係者による講義やフィールドワークを行います。また、参加者がグループワークを行い、主任講師が提示するテーマに関して討議や検討のうえ結論を発表し、主任講師や特別講師の講評を得ることで、地域活性化に関する知識やノウハウを習得することを目指します。

- 1.開催時期 5月から12月（3日間又は2日間）
* 金曜日～日曜日のうち2日間もしくは木曜日～日曜日のうち3日間
- 2.定員 30名程度（会場の規模等により変動）
* 最小遂行人員（15名程度）に満たない場合は中止する場合があります。
- 3.開催方法 現地
- 4.参加要件 参加にあたっては参加費用1万円をご負担いただきます。

■プログラムイメージ（2日間の場合）

	時間	事項	備考
1日目	12:30～13:00	受付・オリエンテーション	
	13:00～13:15	開講式	
	13:15～14:15	主任講師講義	
	14:15～14:20	休憩	
	14:20～15:20	特別講師講義①	
	15:20～15:40	写真撮影・休憩	
	15:40～17:20	フィールドワーク①	講義やフィールドワーク、グループワークなど現地ならではの研修を実施
	18:30～20:30	交流会	
2日目	9:15～9:45	フィールドワーク②	
	9:45～10:00	休憩、移動	
	10:00～11:00	フィールドワーク③	
	11:00～12:00	特別講師講義②	
	12:00～13:40	昼食/グループワーク 閉校式	



※プログラム構成は開催自治体や主任講師のご意向に応じて自由に変更可能です。

令和6年度開催実績

回	開催地	日時	テーマ	参加人数
1	神奈川県 綾瀬市	5/31(金)～6/1(土)	何もないまちがロケの聖地に ～ロケ誘致による地域活性化～	25
2	和歌山県 みなべ町	6/20(木)～22(土)	官民地域連携「梅収穫ワークショップ」で地域活性化 & 積極的関係人口の創出 ～日本一の梅の産地・みなべ町のウェルビーイングな課題解決事例～	19
3	岩手県 紫波町	6/27(木)～29(土)	まちの未来をデザインする ～まち「オガール・日詰」と農村「学校跡地」の暮らしを愉しむ～	40
4	徳島県 美波町	7/25(木)～27(土)	にぎやかそ(にぎやかな過疎)を創る ～サテライトオフィス誘致を核とした人口減少社会のまちづくり～	19
5	新潟県 燕市	8/9(金)～10(土)	まちあそびイノベーション ～高校生が創る私たちのふるさと～	20
6	兵庫県 丹波篠山市	9/19(木)～21(土)	官学連携による地域人材育成と農村イノベーション ～地域に必要な人材を、地域で育み、地域で活かす～	19
7	愛知県 長久手市	10/11(金)～12(土)	『日本一若いまち』の対話、プロセスを重視したまちづくり ～なぜ長久手市は若者を引き寄せるのか～	22
8	鹿児島県 奄美市	11/8(金)、 11/16(土)～17 (日)	まちづくりメディアラボ ～WEB・動画・写真を駆使した地域プロモーション技法を学ぶ～	21
9	鳥取県 日南町	11/21(木)～23(土)	中山間地域のモデルを創るまちづくりの実践 ～森林資源を活用したSDGs × 官民連携による創造的過疎のまちづくり～	16

令和7年度開催実績

回	開催地	開催日	テーマ	参加人数
1	岩手県 紫波町	5/29(木)～5/31(土)	紫波町版「Re: 公民連携プロジェクト」	29
2	長野県 千曲市	6/19(木)～21(土)	自発的に楽しむ、関わる地方創生 ～マグネット人材が紡ぐ内外「共創」の可能性～	17
3	福岡県 豊前市	6/27(金)～28(土)	豊前市版官民タッグのまちづくり ～関係人口のその先へ「活躍人口」との歩み方～	17
4	福島県 富岡町	7/24(木)～26(土)	「二つの時を紡ぐ復興まちづくり」 ～記憶と創造が織りなす持続可能な富岡町の未来～	19
5	山形県 鶴岡市	9/11(木)～13(土)	食や食文化を核としたまちづくり	29
6	埼玉県 横瀬町	9/25(木)～27(土)	日本一チャレンジする町で持続可能なまちづくりを学ぶ ～地域おこし協力隊との連携で地域を変える～	29
7	島根県 海士町	10/23(木)～25(土)	若者に選ばれ続ける島へ 関係人口との共創による地域経営の挑戦	13
8	山口県 防府市	10/31(金)、 11/8(土)～9(日)	まちづくりメディアラボ	17
9	奈良県 生駒市	11/21(金)～22(土)	市民とつなぐ、持続可能なシティプロモーション ～地域との「関係性」構築から生まれる、まちの愛着や共感～	19
10	香川県 (東かがわ市・ さぬき市)	12/5(金)～6(土)	地域再生の最前線に学ぶ官民連携 ～東かがわ市とさぬき市の“挑戦”に触れる～	17
11	大分県 由布市	12/11(木)～12(金)	住んでよし、訪れてよし“懐かしき未来”の創造 ～移住者の挑戦～	22

都道府県別開催実績(H17～R7)

ブロック	No.	都道府県	開催回数
北海道、東北	1	北海道	8
	2	青森県	2
	3	岩手県	10
	4	宮城県	3
	5	秋田県	1
	6	山形県	3
	7	福島県	3
関東、甲信越	8	茨城県	0
	9	栃木県	0
	10	群馬県	4
	11	埼玉県	5
	12	千葉県	1
	13	東京都	9
	14	神奈川県	6
	15	新潟県	4

ブロック	No.	都道府県	開催回数
北陸、東海	16	富山県	2
	17	石川県	1
	18	福井県	2
	19	山梨県	2
	20	長野県	9
	21	岐阜県	6
	22	静岡県	3
	23	愛知県	4
近畿	24	三重県	0
	25	滋賀県	2
	26	京都府	3
	27	大阪府	1
	28	兵庫県	6
	29	奈良県	1
	30	和歌山県	5

ブロック	No.	都道府県	開催回数
中国、四国	31	鳥取県	3
	32	島根県	10
	33	岡山県	4
	34	広島県	2
	35	山口県	4
	36	徳島県	5
	37	香川県	4
	38	愛媛県	4
九州	39	高知県	5
	40	福岡県	2
	41	佐賀県	4
	42	長崎県	2
	43	熊本県	2
	44	大分県	4
	45	宮崎県	2
	46	鹿児島県	2
	47	沖縄県	2

過去の開催事例①

令和7年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町 カリキュラム

1日目

13:00～13:15 開講式

13:15～14:15 自己紹介タイム

14:15～14:30 休憩

14:30～15:30 プロローグ「紫波町の公民連携事業」

主任講師：紫波町企画総務部 企画総務部長 鎌田 千市 氏

15:30～15:45 休憩

15:45～17:00 講義①「公民連携事業のトレンド」

講師：東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻

教授 難波悠氏

17:30～ プチ交流会「急激な関係づくり」

過去の開催事例②

令和7年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町 カリキュラム

2日目

9:00～ 10:00 フィールドワーク①「オガールさんぽ」 (**A～C班**)

10:00～10:15 休憩

10:15～11:15 講義②「Re:オガールのふりかえり、そして次へ」

特別講師：紫波町 企画総務部 地域づくり課

公民連携係長 高橋 竜介 氏

11:15～12:15 講義③「ノウルプロジェクトの設え方」

特別講師：株式会社マザー・オガール地方創生アカデミー

社員 佐々木 琢磨 氏

過去の開催事例③

令和7年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町 カリキュラム

2日目

13:30～15:00 講義④「営生権を創造する」

特別講師：株式会社オガール 代表取締役 岡崎 正信 氏

15:15～16:30 ディスカッション「岡崎さんと鎌田さんに聞いてみよう！」

岡崎 正信 氏、鎌田 千市 氏

コーディネート：佐々木 琢磨 氏、高橋 竜介 氏

16:45～17:00 写真撮影（外）

17:15～19:15 交流会 1階市民交流ステージ

お料理：山崎 彩子 氏（地域おこし協力隊）

過去の開催事例

令和7年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町 カリキュラム

3日目

9:00～10:00 講義⑤「不動産業から見た公有地の可能性」

特別講師：くらしすた不動産

代表取締役 星 洋治 氏

10:00～10:15 休憩

10:15～11:30 講義⑥「公民連携で大切なこと」

特別講師：株式会社アフタヌーンソサエティ

代表取締役 清水 義次 氏

11:30～12:15 ふりかえりグループワーク

コーディネート：宮崎 道名 氏 佐野 智香 氏

12:15～12:30 閉講式

過去の開催事例

令和7年度 地方創生実践塾in岩手県紫波町
(講義・フィールドワークの様子)



開催自治体の声

令和6年度地方創生実践塾in兵庫県丹波篠山市

官学連携による地域人材育成と農村イノベーション

～地域に必要な人材を、地域で育み、地域で活かす～

「対象となった人材育成、大学連携の事業について、これまでを振り返る機会となりました。また、市役所関係者がアテンドしたりレクチャーすることは、報告職員の貴重な経験につながり能力向上につながったと感じます。さらに、若手中心に受講者として参加することは、市の施策を知るとともに全国各地から参加された積極姿勢の皆さんと触れる機会になるなど、良い刺激になりました。」

令和元年度地方創生実践塾in高知県梶原町

「小さな拠点ゆすはらづくり～集落活動を核とした地域の再活性化」

「北は北海道、南は宮崎県まで全国各地から多くのみなさんにご参加いただき交流を深めるとともに、町と小さな拠点・集落活動センターの取り組みについて貴重なご意見・ご提案をいただきました。いただいたご意見等は講師と集落活動センターの代表者が町長へと報告し、行政と地域住民が協働で取り組むまちづくりへと生かされています。」



地域活性化センターでは地域力創造大学校®として、地域イノベーターの養成を目的に、自治体職員などに向けた各種事業を実施しています。

現在、ニューノーマルの時代に合わせて、いつでも、どこでも学べるよう地方創生実践塾やセミナーなどの動画をアーカイブとして保存し、付加サービスとして年間プラン加入者に提供しています。

- 主任講師及び特別講師の講義を主に撮影・配信予定です。配信部分についてはご相談・ご確認させていただきます。
- 録画とアーカイブ配信について、無償でご協力をお願いしています。

問い合わせ先

一般財団法人地域活性化センター

企画・人材育成グループ セミナー統括課

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階

TEL: 03-5202-6133

FAX: 03-5202-0755

MAIL: seminar@jcrd.jp

HP: <https://www.jcrd.jp/>

※ご不明な点は左記連絡先まで
お気軽にお問い合わせください。